

都市再生整備計画 事後評価シート  
七飯町峠下地区

令和2年12月

北海道七飯町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	七飯町	地区名	峠下地区			面積	271
交付期間	平成28年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和2年	交付対象事業費	570百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高次都市施設/観光交流施設(道の駅)</li> <li>道路事業/町道改好事業(道の駅接続道路整備)</li> <li>地域生活基盤/案内サイン整備(情報板)</li> <li>高質空間形成施設/街路灯整備</li> </ul>							
	提案事業	-							
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設/街路灯整備	当初観光客の歓迎色や道の駅の存在意義を高めるために街路灯整備を計画していたが、道の駅案内看板(H=15.0m、ライトアップ式)を設置することで、同様の効果ができると判断し、街路灯整備を取りやめた。			影響なし		
	新たに追加した事業	提案事業	-	-			-		
交付期間の変更	当初	平成28年度～平成32年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし			
	変更	平成28年度～平成31年度							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	評価値				
指標1	観光入込客数	延べ人/年	1,954,000	H26	2,149,400	H31		2,262,319	○	あり なし	道の駅新規の整備、町道整備、案内サイン整備などにより、七飯町の観光地点である道の駅の利用が促進され、同施設の来場者の増加に伴い観光入込客数が増加。	-
指標2	イベント参加者数	延べ人/年	75,863	H26	91,000	H31		102,252	○	あり なし	新規整備された道の駅で多種多様なイベントが開催可能となり、従来よりも町内のイベントが増えたことでイベントの参加者数が増加。また、道の駅開業2年で来場者数200万人を達成。	-
指標3										あり なし		
指標4										あり なし		
指標5										あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	評価値				
その他の数値指標1												-
その他の数値指標2												-
その他の数値指標3												-

4)定性的な効果発現状況 地域住民・団体による主体的な地域活性化への取組の活発化。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>七飯町「道の駅」基本計画検討委員会の開催</li> <li>地域町内会との協議</li> </ul>		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ●	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-
持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-

## 様式2-2 地区の概要

七飯町峠下地区(北海道七飯町) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
<p>【大目標】: 北海道新幹線新駅北口となる峠下地区を中心に、魅力的で賑わい溢れる持続可能なまちづくり</p> <p>●北海道の新たな玄関口となる北海道新幹線「新函館北斗駅」北口エリアに、既存の観光施設も含めた広域観光の拠点として「道の駅」並びに情報発信機能を整備することにより、当町が持ち合わせる観光資源、地元生産物等に更なる付加価値を付け、町全体の観光客入込数を増やす。</p> <p>●道内外からの来場者に向け、当町の魅力及び知名度向上を図り、地域全体が活気に溢れる継続的なまちづくりのために、従前から行われている町主体のイベント回数を増やすことで参加者数の増加を目指す。</p>	①観光入込客数	単位: 延べ人/年	1,954,000	H26	2,149,400	H31	2,262,319	H31	
	②イベント参加者数	単位: 延べ人/年	75,863	H26	91,000	H31	102,252	H31	
		単位:			H		H		H
		単位:			H		H		H
		単位:			H		H		H
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅新規開業、町道改良整備、案内板の整備により、交流や情報発信の拠点が形成され、さらには、イベント開催などにより観光客誘導につながった。</li> </ul>								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅は交通アクセスの利便性を活かした地域のシンボリック施設として、交流人口の拡大を図る。</li> <li>人口減少下において、世代間を超えた交流等により住民が安心して暮らしていけるまちづくりを推進していく。</li> <li>また、施設整備に伴い、各種イベントを通じて当町特産品や観光施設としての知名度向上など、町の賑わいが持続され、町全体が再び活気に満ち溢れたまちづくりを進めていく。</li> </ul>								